

2016年 4 月 11 日

高出力レーザー・ダイオード・モジュールの製造を開始

ファナック株式会社
古河電気工業株式会社

ファナック株式会社(社長;稲葉善治 以下、ファナック)と古河電気工業株式会社(社長;柴田光義 以下、古河電工)との合併会社である F F レーザ株式会社は、産業用光ファイバレーザ(以下、ファイバレーザ)の基幹部品である高出力レーザー・ダイオード・モジュール(以下、LDM)の製造を 4 月から開始しました。

■背景

両社は、切断や溶接用途として、金属加工分野で急速に普及が進んでいるファイバレーザの基幹部品である LDM の合併会社を 2015 年 7 月に設立し、自動化生産設備の準備を進めてきました。合併会社には、ファナック、古河電工が各 50%出資し、両社から役員を選任しています。

■内容

F F レーザ株式会社は、古河電工の高出力半導体レーザ技術とファナックの自動製造技術という両社の技術力を融合し産業用高出力 LDM の第一量産ラインを立ち上げました。自動化により、高品質で高い信頼性の LDM を安定供給できます。

操業開始 2016年4月

主要設備 古河電工製調芯装置 8 台、ファナック製ロボット 9 台など

第一ライン製造能力 ファイバレーザ月産 60kW 相当の LD モジュール

今後、順次拡張予定

以 上